

健診検査センターニュース

No.546号

検査内容変更のお知らせ

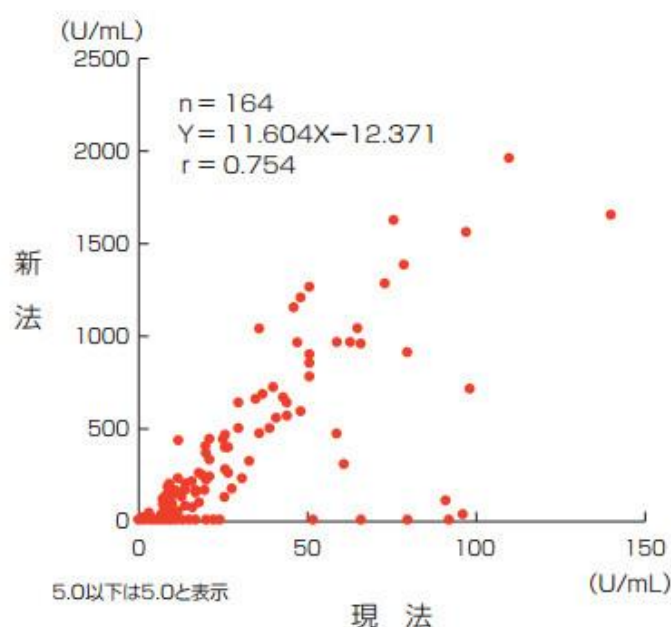
平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。
何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成27年12月17日（木）より変更

変更項目：2964 抗GAD抗体

	(新)	(旧)
検査方法	ELISA	RIA
基準値	5.0未満 (U/mL)	1.5未満 (U/mL)
報告範囲	5.0未満、5.0～1990、2000以上	0.3未満、0.3～99900000
備考	(記載なし)	ヒト由来抗原を使用しています。
参考文献	及川 洋一, 他: 医学と薬学 72 (9): 1551～1560, 2015.	高瀬 清美, 他: ホルモンと臨床 44 (8): 895～900, 1996.

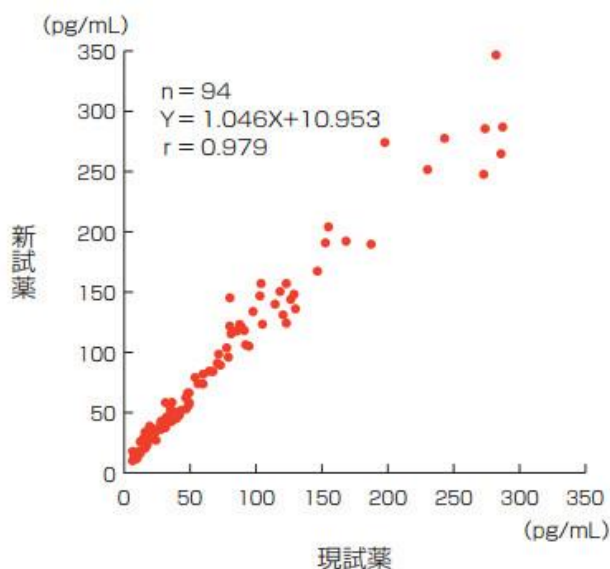
▼現法と新法の比較



変更項目： 2570 ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (HANP)

	(新)	(旧)
報告範囲	5.0未満、5.0～1990、2000以上	5.0以下、5.1～1290、1300以上
参考文献	松岡 泰弘, 他: 医療と検査機器・試薬 33 (4) :535～540, 2010.	下迫 賢一, 他: 医学と薬学 57(6): 901～906,2007.

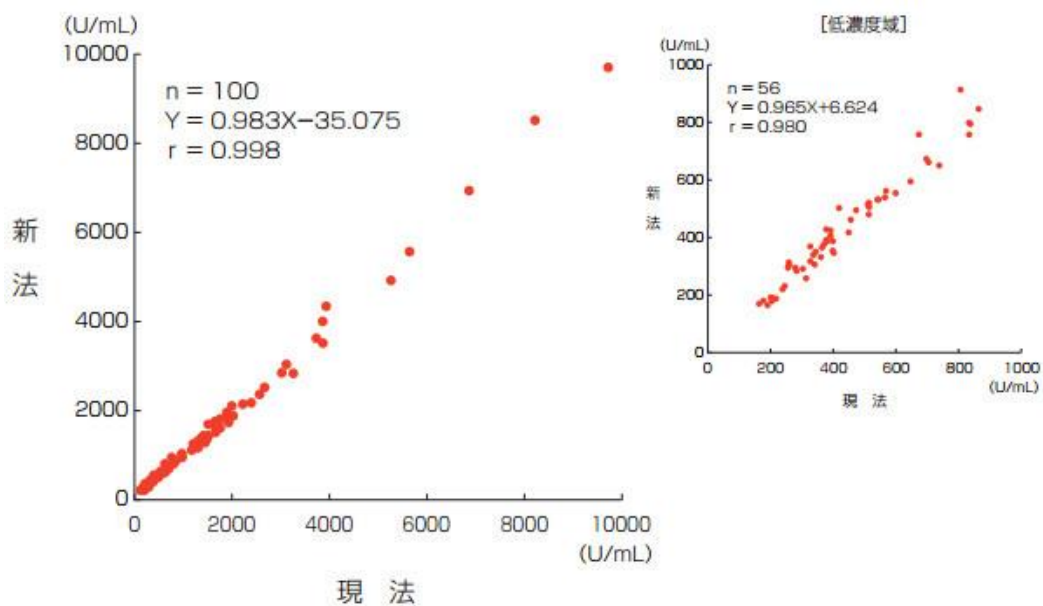
▼現試薬と新試薬の比較



変更項目： 4865 可溶性IL-2レセプター

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	ELISA
報告範囲	50.0未満、50.0～99900000	54.5未満、54.5～99900000
参考文献	丹部 絵梨, 他: 医療と検査機器・試薬 37 (5) :649～657, 2014.	宮永 雅代, 他: 医学と薬学 63 (6) : 905～912,2010.

▼現法と新法の比較



変更項目： 2433 抗RNP抗体

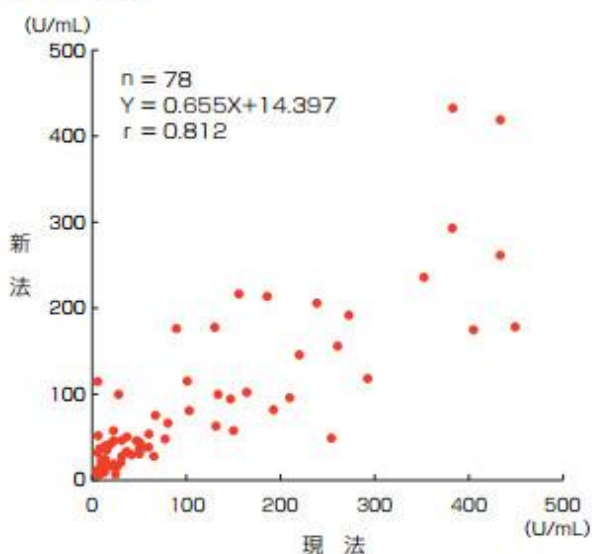
	(新)	(旧)
項目名称	抗RNP抗体[CLEIA]	抗RNP抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0未満 (U/mL)	10.0以下 (U/mL)
報告範囲	2.0未満、2.0~549、550以上	7.0以下、7.1~499、500以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	西山 進, 他: 医学と薬学 68 (2) : 345~355,2012.	秋月 正史, 他: 医学と薬学 37 (2) : 509~520,1997.

変更項目： 2436 抗Sm抗体

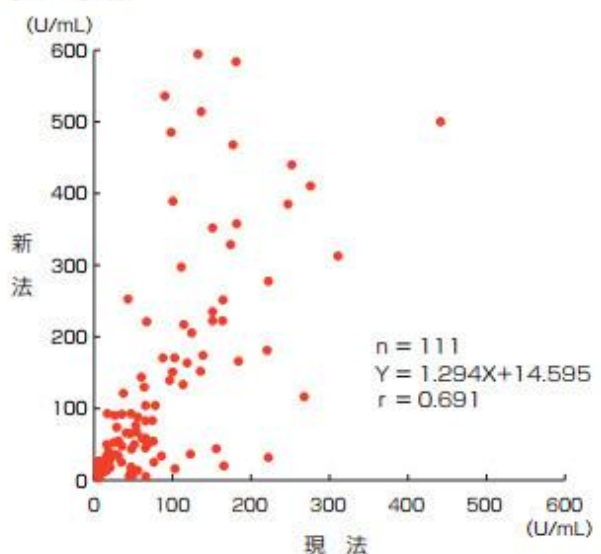
	(新)	(旧)
項目名称	抗Sm抗体[CLEIA]	抗Sm抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0未満 (U/mL)	10.0以下 (U/mL)
報告範囲	1.0未満、1.0~599、600以上	7.0以下、7.1~499、500以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	西山 進, 他: 医学と薬学 68 (2) : 345~355,2012.	秋月 正史, 他: 医学と薬学 37 (2) : 509~520,1997.

▼現法と新法の比較 (測定範囲外を除く)

抗RNP抗体



抗Sm抗体



変更項目： 2434 抗SS-A/Ro抗体

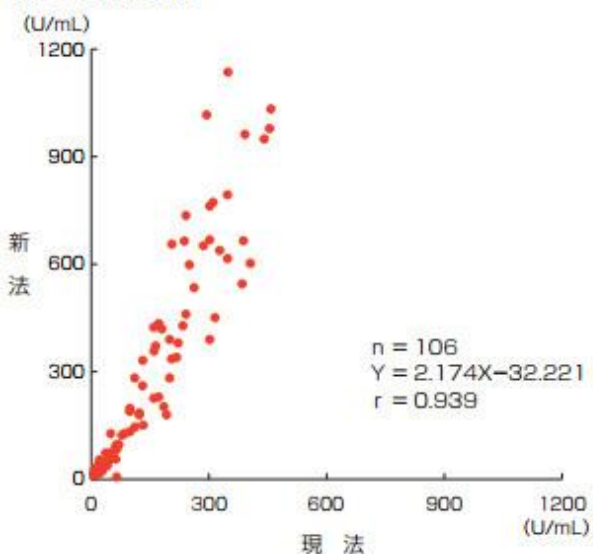
	(新)	(旧)
項目名称	抗SS-A/Ro抗体[CLEIA]	抗SS-A/Ro抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0未満(U/mL)	10.0以下(U/mL)
報告範囲	1.0未満、1.0~1190、1200以上	7.0以下、7.1~499、500以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	西山 進, 他: 医学と薬学 68 (2) : 345~355,2012.	秋月 正史, 他: 医学と薬学 37 (2) : 509~520,1997.

変更項目： 2435 抗SS-B/La抗体

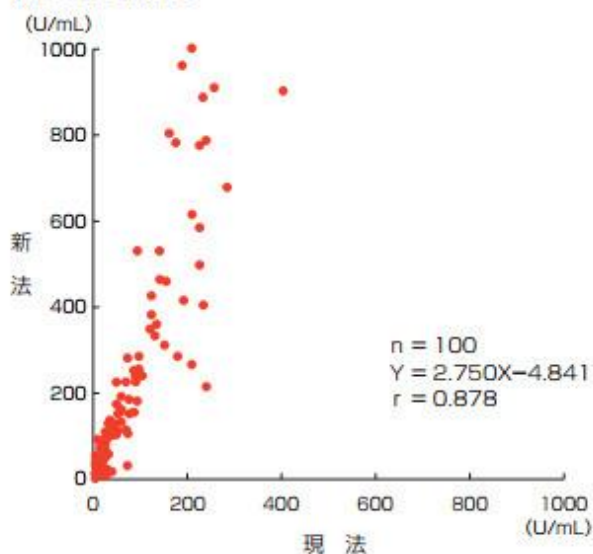
	(新)	(旧)
項目名称	抗SS-B/La抗体[CLEIA]	抗SS-B/La抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0未満(U/mL)	10.0以下(U/mL)
報告範囲	1.0未満、1.0~999、1000以上	7.0以下、7.1~499、500以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	西山 進, 他: 医学と薬学 68 (2) : 345~355,2012.	秋月 正史, 他: 医学と薬学 37 (2) : 509~520,1997.

▼現法と新法の比較 (測定範囲外を除く)

抗SS-A/Ro抗体



抗SS-B/La抗体



変更項目： 2437 抗 Scl-70 抗体

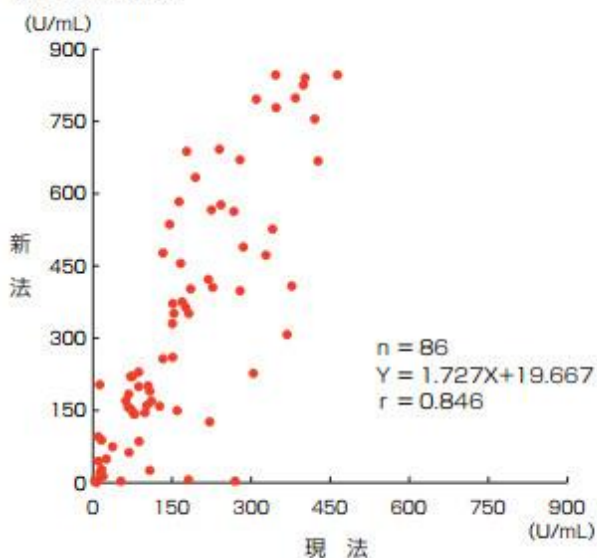
	(新)	(旧)
項目名称	抗 Scl-70 抗体[CLEIA]	抗 Scl-70 抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0 未満 (U/mL)	10.0 以下 (U/mL)
報告範囲	1.0 未満、1.0~849、850 以上	7.0 以下、7.1~499、500 以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	松下 雅和, 他: 医学と薬学 70 (1): 109~117, 2013.	廣澤 実一, 他: 医学と薬学 39 (1): 163~174, 1998.

変更項目： 2438 抗 Jo-1 抗体

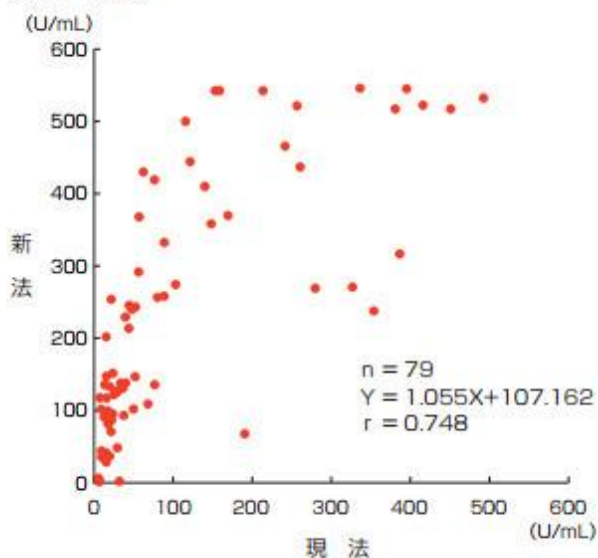
	(新)	(旧)
項目名称	抗 Jo-1 抗体[CLEIA]	抗 Jo-1 抗体
検査方法	CLEIA	ELISA
基準値	10.0 未満 (U/mL)	10.0 以下 (U/mL)
報告範囲	1.0 未満、1.0~549、550 以上	7.0 以下、7.1~499、500 以上
備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
参考文献	松下 雅和, 他: 医学と薬学 70 (1): 109~117, 2013.	廣澤 実一, 他: 医学と薬学 39 (1): 163~174, 1998.

▼現法と新法の比較 (測定範囲外を除く)

抗 Scl-70 抗体



抗 Jo-1 抗体



▼抗核抗体（ANA）染色型と主な関連検査および疾患

染色型	主な関連検査	主な関連疾患
Homogeneous型 (均質型)	抗DNA抗体(DNAテスト) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗DNA抗体(RIA)	
	抗ss-DNA IgG抗体	
	抗ss-DNA IgM抗体	
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
	抗ヒストン抗体	全身性エリテマトーデス、薬剤性ループス
抗核抗体(LEテスト)	全身性エリテマトーデス	
Peripheral型 ¹⁾ (辺縁型)	抗DNA抗体(RIA)	全身性エリテマトーデス
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
Speckled型 (斑紋型)	抗RNP抗体(オクタロニー法)	混合性結合組織病、強皮症、全身性エリテマトーデス
	抗RNP抗体(CLEIA)	
	抗Sm抗体(オクタロニー法)	全身性エリテマトーデス
	抗Sm抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
	抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群
	抗SS-B/La抗体(CLEIA)	
	抗Ki抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗Ku抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	筋炎・強皮症重複症候群
抗Scl-70抗体(オクタロニー法) ³⁾	強皮症	
抗Scl-70抗体(CLEIA) ³⁾		
Nucleolar型 (核小体型)	抗U3RNP抗体 ⁴⁾	強皮症
	抗7-2RNP抗体 ⁴⁾	
	抗RNA ポリメラーゼⅢ抗体	筋炎・強皮症重複症候群
	抗PM-Scl抗体 ⁴⁾	
	抗リボソームP抗体 (ELISA) ²⁾	
Discrete-Speckled型 (セントロメア型)	抗セントロメア抗体(ELISA)	強皮症(CREST症候群)、原発性胆汁性肝硬変
Cytoplasmic型 ⁵⁾ (細胞質型)	抗ミトコンドリア抗体(FA)	原発性胆汁性肝硬変
	抗ミトコンドリアM2抗体(CLEIA)	
	抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	多発性筋炎・皮膚筋炎
	抗Jo-1抗体(CLEIA)	
	抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	
	抗リボソームP抗体(ELISA) ²⁾	全身性エリテマトーデス(CNSループス)
抗平滑筋抗体	自己免疫性肝炎	
PCNA型	抗PCNA抗体(オクタロニー法) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
PCNA様型	抗Na抗体 ⁴⁾ など	全身性エリテマトーデスなど
核膜型	抗核膜ラミン抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
	抗gp210抗体 ⁴⁾	
Granular型	抗p80 coilin抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、シェーグレン症候群など
	抗sp-100抗体 ⁴⁾	
紡錘体型 ⁵⁾ NuMA-1	抗NuMA-1抗体 ⁴⁾	シェーグレン症候群など
	NuMA-2	抗NuMA-2抗体 ⁴⁾
中心体型 ⁵⁾	抗中心体抗体 ⁴⁾	レイノー病、強皮症など
ゴルジ体型 ⁵⁾	抗golgin-97抗体 ⁴⁾ など	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 関節リウマチなど

1) Homogeneous型との鑑別は難しく、多くのPeripheral型陽性血清は希釈していくとHomogeneous型に変化します。

2) 項目の詳細につきましては営業員へお問い合わせください。

3) 染色型はSpeckled型とHomogeneous型の間隔的な染色像であり、またNucleolar型が陽性となることがあります。

4) 未実施項目です。

5) 対応抗原の局在が核ではないため、狭義の抗核抗体には含まれません。

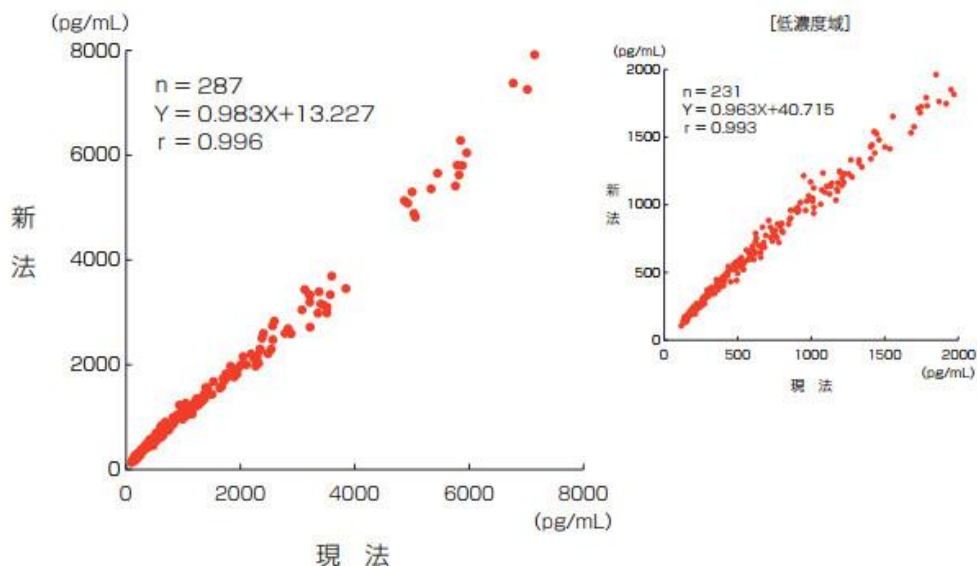
(参考文献) 竹内 健, 他: 医学検査51(9): 1256~1264, 2002.

三森 経世: リウマチ32(4): 366~378, 1992.

変更項目： 3293 TARC (Th2 ケモカイン)

	(新)	(旧)
検査方法	CLEIA	ELISA
報告範囲	100未満、100~99990000	125未満、125~99990000
参考文献	安江 智美, 他: アレルギーの臨床 34 (10) :60~65, 2014.	石田 俊雄, 他: 医学と薬学 58 (6) :901~907, 2007.

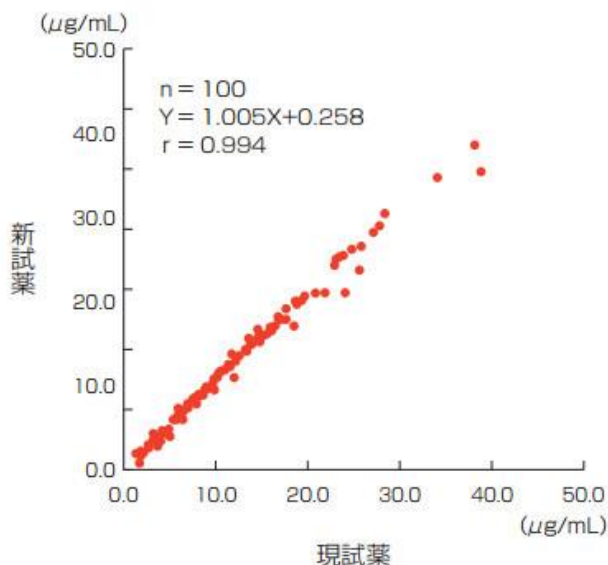
▼現法と新法の比較



変更項目： 1119 1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5AG)

	(新)	(旧)
備考	(記載なし)	輸液後, 20時間以内の採血は避けてください。
参考文献	遠藤 輝夫, 他: 医療と検査機器・試薬 26 (1) :45~50, 2003.	山内 俊一, 他: 糖尿病 33 (1) :41~47, 1990.

▼現試薬と新試薬の比較



公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
 TEL 0138-57-6571 • FAX 0138-57-6580
 E-mail : info@hma-labo.jp